

春季合同法要のご案内

高野山にも
春が訪れようとしております。
今年も皆様ぜひ
お参りにお越しください。



- ◆日時
平成26年3月30日(日)
12時30分より
(集合12時15分)
- ◆場所
持明院・本堂 (和歌山県伊都郡
高野町高野山455)
- ◆法要料(参加費)
無料 (ご希望によりお布施は受け付けております)
- ◆ご参加
自由・予約不要
- ◆佛舍利宝塔の参拝時間
午前の部
10時～11時30分まで
午後の部
法要後～15時30分まで

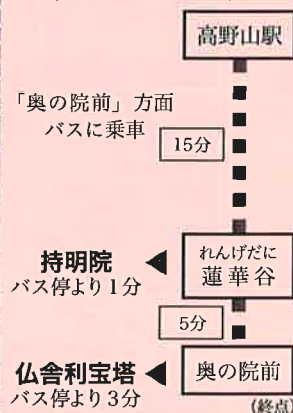
- 法要の時間は約40分で、その後に仏舎利のお参りもできます。
- ご親族だけでなく、ご友人などもご参加いただけます。
- 当日は12時30分ちようどから始まりますので、15分前までにお越しください。
- 持明院には駐車場がありますが、場所に限りがございますので、できるだけ電車・バスでお越しください。
- 南海電鉄(こうや号)は、一ヶ月前から予約できます。
- 高野山は山下より温度が下がりますので、冷えやすい方は念のため羽織るものをご持参ください。
- 持明院でご昼食をご希望される場合は、ご予約が必要です。
- お一人様2,100円(精進料理)お子様向けも用意できます
- 持明院は宿坊もしております。どうぞご利用下さい。
- 宿泊・大人一名8,400円

●お車の場合●

橋本市内まで来てから京奈和自動車道に「橋本」ICから乗り、「かつらぎ」IC(現在の終点)まで行きます。
その後24号線を約1kmほど進み480号線に乗るとそのまま高野山までつながります。
※2014年3月現在、京奈和自動車道は全開通していないため上記区間は無料で利用できます。



高野山駅からは
バスで約15分
(タクシーもあります)



南海電鉄 時刻表(3月～11月 土日祝専用)

行	き	難波発	高野山駅着
		8:13	10:08
	特急3号	8:36	10:22
		9:00	10:35
		9:02	10:51
		9:24	11:07
	特急5号	10:00	11:35
		10:02	11:53
		10:24	12:09
帰	り	高野山駅発	難波着
		13:32	15:23
	特急10号	14:04	16:02
		14:37	16:23
		15:03	17:02
		15:19	16:50
	特急12号	15:45	17:36
		16:20	17:50
		16:33	18:23

はすの会 会報 No.47

平成26年(2014年)2月20日発行
平成8年(1996年)11月1日初版発行

持明院「はすの会」事務局
〒530-0001
大阪市北区梅田1-3-1
大阪駅前第一ビル9階
株式会社高野山寺月会
電話: 06-6348-0530
FAX: 06-6348-0170
メール: renraku@hasunokai.jp
HP: www.hasunokai.jp

日本の歴史の集約地、高野山

奥之院は入口の一の橋から弘法大師の御廟まで約二キロメートル、大きく聳え立つた老杉の間に苔むした墓や石塔が立ち並ぶ景観は、高野山独自のものです、この世の極楽といわれているお山の姿を見ることができるとのことです。

ここに墓碑が建て始められたのは鎌倉時代といわれていますが、当時のものは形も小さく数も少なかったようで、最も盛んに建立されたのは江戸時代以降、墓碑も大きく立派なものになりました。

これは徳川幕府の平和政策に基づくもので、徳川家に於いても家康公、秀忠公の霊廟を建て、祖先崇拜の風習を強く推し進めたため、全国諸藩の大名は競い合って次々と石碑の建立が進められました。交通は不備にして機械力のない当時、大名家といえども墓碑・石塔の建立は容易な業ではなく、大

きな出費であったと思われます。これは徳川の政策の所産とも言えますが、一面久遠の安住地を大師の膝元へ求めようという人々の強い信仰があつたと思われれます。その後一般庶民もこれに習い、宗旨の別なく、続々と建碑が行われ、今日の大墓群ができたといわれています。

この夥しい墓石の数は、大小合わせて二十万基を越すとも言われており、さながら日本の歴史がここに集約されているような感じを受けます。

また、高野山にふさわしい代表的な墓碑として、御歴代仙陵、親鸞聖人・法然上人の墓所、高麗陣敵味方戦死者供養碑などがあり、来年(2015年)は高野山開創千二百年記念の年ですので、ぜひ皆様方にも一度ご探訪いただきたいと存じます。



恭 禮 三 寶 謹 賀 新 年

お釈迦さまは、「他人の良くないところはとてもよく見えるし、つつい指南もしたくなる。見えにくいのは自分自身の欠点である」と説かれています。

またお大師さまも、「無道人之短、無説己之長（人の短を言うことなかれ、己の長を説くことなかれ）」という、中国後漢の詩人である崔援の「崔子玉座右銘」を書として残されており。

私たちはつつい他人のアラ探しをしてしまいます。また子や孫の自慢話にも夢中になってしまいます。自戒を含め心すべきこと、人には春風のやさしさをもって接しましょう。

このように佛の教えは、われわれの気付かぬことを教え、どうすれば誤りのない、安心して日常生活を送ることができるか、という

生活指導なのです。

仏教は葬式や法事ばかりの、とかく死んだ人のための宗教だと考え違いをされている方が非常に多い。

たしかにそうした一面もありますが、生きている佛のような人間を作るのが仏教です。

皆様には本年も佳き年をお迎えになられたことでしょう。祖山もそろそろ眠りから覚める頃、ご参詣を心からお待ち申し上げます。

合掌



別格本山持明院 住職・竹内崇雄

はすの会よりご連絡

本年（平成26年）4月1日より消費税率が変わりますので、一部価格の改定をさせていただきます。何卒ご了承お願い申し上げます。

消費税率の改定により変わるもの

●地下にある供養碑の内容変更料
10,500円→10,800円

●地上・冥福五輪塔の内容変更料
50,000円→54,000円

●持明院での食費・宿泊費など

引き続き料金が変わらないもの

皆様が持明院に来て頂く法要

●納骨法要

一霊位・10万円（二霊位目以降各5万円）

●特別法要（回忌法要）

一霊位・3万円（二霊位目以降各3千円）

●一般法要（追善供養・命日供養など）

一霊位・1万円（二霊位目以降各3千円）

皆様はご自宅のままで受ける法要

●在宅法要

一霊位・1万円

持明院のお坊さん紹介

◆佐藤 崇文様◆

持明院でお勤めしている佐藤崇文僧侶をご紹介します。

Q お年はいくつでしょうか？

A 昭和39年生まれの49歳です。

Q 僧名の由来は？

A 前住職（故・竹内崇峯大僧正）から名前の一部を頂きました。

Q 僧侶になるきっかけは？

A 30代前半のころ、あるお寺に行ったときハツと感じさせられるものがあつたことから、そのお寺に相談しました。

そして平成10年に持明院で得度を受け、平成14年に加行を受けて正式に僧侶となりました。

Q 参拝客へ要望はありますか？

A 皆様真摯な方ばかりで、逆にこちらが勉強を頂いております。

これからも歴史ある高野山の名に恥じないよう頑張りますので、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。 合掌

二大モニュメント『世界平和の鐘』と『六地藏』建立

昨年（平成25年）9月8日、仏舎利宝塔に建立された「世界平和の鐘」の除幕・落慶法会が執り行われました。

願主は兵庫県芦屋市にお住まいの会員様、貴志ヨシエ様で、来年の高野山開創千二百年記念に合わせ、お大師様の本願に添って「世界平和の鐘」をご寄進されました。

法会は持明院住職・竹内崇雄の作法に基づき本山住侶を含む僧侶5名のご出席を仰ぎ、厳かに営まれました。

願主の貴志様はもとより、友人や関係者など、参列された方全員が感動に包まれておりました。法会では、竹内住職からの感謝状に添えて、貴志様の謝辞が読まれました。

「前略、東西の冷戦終結も束の間で、今なお地球上の至る処で戦

争や紛争の火種は消えず、また大きな自然災害など平和とは全く程遠いものです。暗夜の一灯にも似た吾が願いではございますが、地球上に住むすべての人々の暮らしが穏やかに営まれることを祈願し、

本日の運びとなりました。遺されし生命のある限り、思いを鐘に託し、高野山から鳴らし続けてまいります。：（以下、略）

貴志様の願いは、すべて二首の和歌として背壁に刻まれています。

蒼き星 宇宙にひかり

清すがし

世界平和の 幸せ祈る

高野山 祈りの聖地

奥の院

永久に響け 平和の鐘を

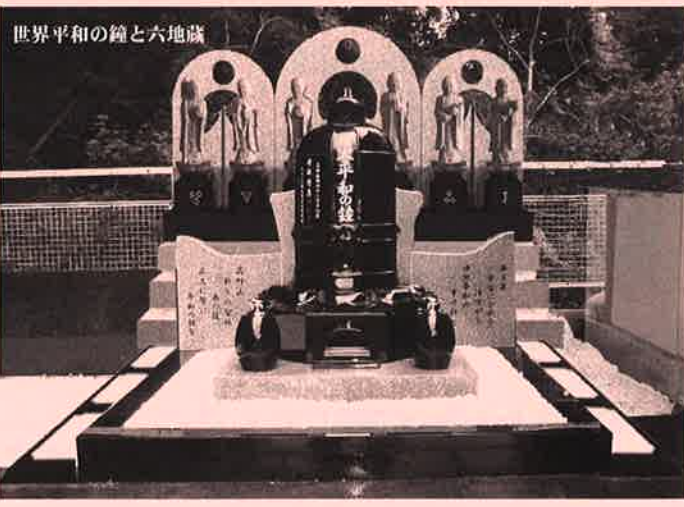
落慶法要後、日を置かずして貴志様は、お大師様へのさらなる報恩謝徳の願いから「六地藏」の建立を併願されました。

高野山参詣の対象として縁が深く、お大師様も六道の救い主としてお作りになっていた地藏菩薩は私達にとっても非常に身近な佛さまです。

貴志様の高い利他の志を受けて、会員の皆さまやご参詣の方々の現当二世の功德を願い、「平和の鐘」の後背地に建立いたします。

「世界平和の鐘」と「六地藏」。共に仏舎利宝塔の二大モニュメントとして、永遠に人類の平和を願い、私たちの浄福を約束し、輝き続けることでしょう。

仏舎利宝塔へご参詣の折には、ぜひ身近に立つてご祈念ください。



世界平和の鐘と六地藏

編集後記

今回の会報はいかがでしたでしょうか。事務局ではご意見、ご感想、投稿記事を募集しております。

ホームページには紙面の都合で載せられなかった各スタッフの編集後記も掲載しております。あわせてご覧ください。

<http://www.hasunokai.jp/>